

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	(/)
項目名		(C 除いた特殊語)	
男 650			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
07 37. 94	〈卑〉 jaro	otoko
07 47. 70	〈卑〉 jaro:	otoko
07 79. 03	deʔsm 〈卑〉 〈子供の時 おいられたりおらわれたりの時〉	otoko
08 40. 33	jaro. 〈卑〉	otoko
08 94. 61	jaro 〈卑〉	otoko
17 27. 75	ホオシ 〈麿〉	ホコ
17 38. 19	〈卑〉 baka	otoko
17 47. 55	jaro 〈卑〉	otoko
17 98. 13	okkai 〈男〉 〈卑〉 〈用いたとはあるが 使ったことはない〉	otoko
18 48. 24	jaɾo 〈卑〉	otoko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(2)
男 男			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1854.24	jaro: 〈(卑)〉	otoko ⁷
1867.15	下 ホオズ	トコ
2619.28	下 ヤロ	トコ"
2765.71	〈(卑)〉 kumsareodogō	odogō
3619.58	(卑) jaro	odogo
3639.49	(卑) jaro bagajaro	odogo
3699.55	トコ" odojō とおじ(室員)	
3649.16	(卑) jakko, hoido, jaro, bagajaro	odogo
3649.64	(卑) jaro	odogo
3689.75	jaro (卑)	odogo

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 136	A 普通注記	ページ
項目名 男 088		[B 除いた共通語]	(3)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3712.74	(男) bagajaro	odogo
3712.89	(男) jaro tsikkiso } 女にも使う	odogo
3720.58	(男) jaro tsikiso	odogo
3720.71	(男) bagajaro idzarekesi	odogo
3721.30	(男) jaro	odogo
3721.37	(男) jaro tsikiso (男女共通)	odogo
3722.97	(男) jaro	odogo
3730.43	(男) jaro tsikiso	odogo
3731.46	(男) jaro tsikiso	odogo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号 136	A 普通注記	ページ
項目名 男 020		(B 除いた共通語)	(4)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3731.61	(卑) bagajaro	odogo
3732.26	(卑) bagajaro	odogo
3733.18	(卑) bagajaro 異名にも。	odogo
3733.22	jaro (卑)	odogo
3740.33	jaro (卑)	odogo
3740.82	jaro (卑)	odogo
3741.57	jaro (卑)	odogo
3750.28	jaro (卑)	odogo
3750.75	jaro (卑)	odogo
3751.81	jaro (卑) бага (卑)	odogo

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(5)
男 680			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3752.89	(卑) bagajaro Lgezarui lgetsiküfo	odogo
3760.58	jaro (卑)	odogo
3761.22	(卑) bagajaro	odogo
3761.74	(卑) jaro (卑) tsikkifo	odogo
3762.42	odogo 卑称. 15 土名から	
3762.85	(卑) jaro	odogo
3770.49	(卑) jaro	odogo
3770.62	jaro (卑)	odogo
3771.29	[卑] jaro bagake bagajaro	odogo
3771.44	(卑) bagajaro	odogo

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(6)
男 080		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
37 72. 32	(卑) jaro	odogo
37 72. 73	同上	同上
37 30. 65	(卑) jaro dadzagüjaro bagajaro	同上
37 81. 21	(卑) jaro	同上
37 81. 49	同上	同上
37 82. 38	(卑) bagajaro noldo	同上
37 82. 71	(卑) jaro noldo	同上
37 91. 76	(卑) jaro	同上
46 19. 23	ja'ro: (卑)	o'doko
46 52. 79	otokono mon ... 〈no mon 男性の語形〉と説明 〈古〜現〉 本誌最も多く用いる。	otoko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136		
項目名		[B 除いた共通語]	(7)
男 080		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4659.50	ヤロ (阜)	オトコ
4667.33	ヤロオ 男の子	オトコ
4672.19	otokono mon (相州では otokono mon と 「オトコの子供かありますか」の 同じに對する 答え。)	otoko
4676.42	ヤロオ (FB)	オトコ
4677.65	odoko (jaro は「男子」と意味の異なる)	
4685.72	jaro: (F) <jaro: は 1人1人の時用いる>	otoko
4689.86	zaro: <悪口>	odoko
4694.81	ヤロオ (FB. 男の子)	オトコ
4695.21	jaro <F> zube <F> (河津 男の子の時 に用いる卑しい言葉。)	otoko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は秘密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(8)
男 960			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4699.42	jaro: (男称)	otoko
4706.53	odogo <男の男称は jaro:>	
4711.49	ヤロ (男)	オトコ
4723.14	jaro [男]	odogo
4725.01	オトコ <男. ヤロ>	
4735.42	男 ヤロオ	オトコ
4741.44	ヤロ (男又は子供に於て)	オトコ
4743.44	otoko <男称又は jaro: がある。>	
4750.32	ヤロ (男)又は子供に於て)	オトコ
4761.57	jaro: <男称>	otoko

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136		
項目名		[B 除いた共通語]	
男 060		[C 除いた特殊語]	(9)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4772.33	jaro <おれさ言葉>	otoko
4773.15	jaro: <男>	odoko
4781.48	jaro: <おれにしている>	otoko
4782.96	jaro: <F>	odoko
4791.65	jaro: (男称)	同上
4792.43	ba ajaro: <男>	odogo
4793.41	odoko <jaro: 男称>	
4794.30	jaro: <おれにしている> (男称)	otoko
5566.95	オトコ <新>	オトコ
5567.46	<男> オトコ	オトコ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	[B 除いた共通語]	(10)
項目名		[C 除いた特殊語]	
男 050			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5568.57	<鼻>ホ	ホ]
5603.88	jaro <下>	otoko
5605.11	jaro: <下>	同上
5605.57	オコ otoko という形に変わった。 男は otukokko	
5609.26	jaro <悪口>	otoko
5609.81	jaro: <鼻科>	otoko
5611.74	! ヤラオオ (下) <悪口を言う時使う>	ホ]
5612.39	ヤラオオ (下)(希)	同上
5612.98	#*! otogo 151の okkasa と云い、これを訂正した。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	[B 除いた共通語]	
項目名	男 060	[C 除いた特殊語]	(11)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5617.85	otoko <jaro: 1 卑称>	
5623.27	otōko [[尊称は 朴コ.オナ 鳥は オス.メス]] jaro < 卑.下 >	
5623.85	jarokko (卑)	otogo
5625.32	ヤラオオ (下) (996304 用い)	オト
5632.28	jaro < 卑 >	otoko
5633.45	同上	同上
5635.48	ヤロオ < 卑 >	オト
5636.49	ヤロ < 下 >	オトコ オトコシ
5636.74	ヤロオ < 卑 >	オト

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(12)
男 080			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5644.74	オス<卑>	オトコ
5646.71	ヤロオ<下>	同上
5657.73	ヤロオ<下>	同上
5665.46	ヤロオ<カタ>	オトコ オトコシ
5666.18	ヤロオ<下>	オトコ
5669.19	jaro (夏口)	otoko
5669.96	jaro<卑>	odogo
5676.28	jaro: (卑)	otoko
5676.84	ヤロオ<年令に關係なし> オス<1200にL.F.F.は時> <新>	オトコ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は縦書きにする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	126	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(13)
男 080			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5677.28	トコヤ ^ハ オ <卑>	トコ
5678.33	ヤ ^ハ オ <卑>	同上
5678.59	ja ^{ro} <古>	o ^o toko
5679.31	jaro <卑>	otoko
5683.61	ヤ ^ロ ウ <卑称>	トコ トコ ^シ
5686.15	ko ^{ro} nojaro: <卑>	o ^o toko
5687.32	ヤ ^ハ オ <卑>	トコ
5687.59	ja ^{ro} : <卑>	o ^o toko
5689.43	jaro: <卑>	otoko
5689.98	oto ^{ko} (卑称 [ja ^{ro} :])	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(14)
男 000			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5693.78	ɾɔ̃ɔ̃ <下>	トコ
5694.79	ɾɔ̃ɔ̃ <下>	オトコ オトコシ
5696.13	(下)(古) ɾɔ̃ɔ̃	オトコ
5696.68	jaro: <卑称>	otoko
5697.20	-jaro: <卑称>	o'toko'
5697.24	(下) ɾɔ̃ɔ̃	オトコ
5698.19	jaro: <卑称>	otoko
5698.30	-jaro: (卑)	o'toko'
5698.54	同上	同上
5699.25	okoko jaro: <卑>	

↑ 注記と判定 otokoとオトコ(皇員)

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(15)
男 080			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5699.42	jaro < 卑称 >	otoko
5700.28	jaro: < 卑称 >	otoko
5702.52	同上 < 下 >	同上
5703.19	otoko 卑称 jaro: 若い者 dzidzi 老人	
5710.29	otogo < jaro: 卑称, 中年子。 >	
5711.18	otoko 卑称 jaro: 大人でも含む dzidzi 老人	
5712.88	jaro: < 下 >	otoko
5713.65	otoko 卑称 jaro: jatsü	■
5714.10	jaro: < 下 >	otoko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名	男 000	(C 除いた特殊語)	(16)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
57 21. 27	otoko 男称 若人 jaro 老人 dgidzi	
57 21. 77	jaro <おじい様>	otoko
57 31. 13	(♀) jaro	odogo
57 41. 25	jaro <F>	otoko
57 42. 65	(♀) jaro	odoko
57 51. 89	jaro: (♀)	otoko
57 60. 24	ja-ro <要口>	otoko
57 60. 57	jaro (♀)	odogo
57 61. 91	同上	同上
57 70. 11	同上	同上

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136		
項目名		[B 除いた共通語]	
男 020		[C 除いた特殊語]	(17)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5770.46	jaro <鼻>	odogo
5772.00	(鼻) jaro	同上
5780.57	jaro <鼻>	同上
5781.22	jaro jaro は 47 年 12 月 1 日 誕生した。" "今を 55 年 jaro が 生れて..." という下にも使う。	同上
5781.65	jaro': <悪い意味, 47 年 12 月 1 日 誕生>	odoko
5782.32	jaro: <鼻科>	otoko
5782.79	otoko <希> jaro <鼻, F>	odogo
5782.94	jaro': <47 年 12 月 1 日 誕生>	otoko

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は省略にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	/ 36	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(18)
男 050			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5791.23	ja ^{ro} : 卑称	odogo otoko
5791.68	ja ^{ro} < 卑. 赤坂の生れたとき >	otoko
5792.02	!ja ^{ro} : < ケバツク意なし > otoko < 共通格として >	
5792.18	ja ^{ro} : < 子供より. 最近少ない(た). ケバツク(使) >	otoko
5792.62	ja ^{ro} : < 古. 卑 >	odogo ~ odoko
5793.20	ja ^{ro} < 立腹したときい >	otoko
5793.74	ja ^{ro} : < 卑称 >	odogo
6348.71	テキ < 古. 下 >	トコ
6366.24	otoko (卑称なし)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 136	A 普通注記	ページ
項目名 男 050		(B 除いた共通語)	(19)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6373.59	OTOKO (男科なし)	
6374.68	同上 同上	
6376.68	同上	
6384.73	同上	
6385.63	同上	
6386.66	同上	
6393.26	同上	
6394.09	同上	
6395.46	同上	
6396.08	同上	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 136	A 普通注記	ページ
項目名 男 030		(B 除いた共通語)	(20)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
6396.62	オトコ <若い男の未婚者をノコと言う。おネリ上品ではない。>	
6398.42	otoko <尊称別になし>	
6411.66	オトコ <たオトコと言えは下男のこと>	
6420.34	オトコ <男衆 = オコゴシ<古>>	
6426.47	ja ^r ro: <悪口>	o ^r toko
6428.76	ヤロオ <F> カキ<F> <ヤロウ、カキは相手の大人でも子供でも使う>	オトコ
6442.80	オコゴ <古>	オトコ
6445.11	<!> オトコ	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は秘密にする。

質問番号	地図番号 136	A 普通注記	ページ
項目名 男 男		[B] 除いた共通語	(2/)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6447.08	onta [卑] … おんた意	otoko
6457.51	oŋaʒime <卑>	otoko
6476.17	オンタ <下> <男の子は人同様の動物と同じに見え オンタといふ>	オトコ
6477.02	! オンタ オンタは意地悪に、又はおかしきいふ意。	オトコ
6479.51	onta [卑] 雄の意	otoko
6485.46	オトコシ <下>	オトコ
6485.82	! オトコ	同上
6486.07	下. ヤロオ	同上
6486.50	下! オトコトコロ	同上

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(2)
男 080			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6487.43	<下> オン (オンは オス(正確)の意味。不良:エロクがある。)	オトコ
6488.48	ga ^h ki <鼻>	「oto ^h ko
6509.43	ホ ^h オ <鼻> (動物のオスエオスカ下時に用いない)	オトコ
6516.15	<鼻> ホ ^h オス	オトコ
6518.87	<学> ガンシ	オトコ
6519.43	<他><鼻> ガキ <英> ガンシ	オトコ
6528.21	jaro: <下><希>	otoko
6535.73	otoko <男子は>オのよに呼ぶ方が変る	

bo: → waro → dzi: >

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での格紙は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は縦書きにする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	136	
項目名		B 除いた共通語
男 080		C 除いた特殊語 (23)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6538.46	jaro <男>	otoko
6546.73	otoko [子供に属L2は kobo という]	
6547.24	jaro: <男>	otoko ⁷
6548.26	jaro: <下> <1935年以降の場合>	otoko
6549.03	!jaro: <下>	同上
6549.60	jaro: <下>	同上
6553.22	onta <男>	同上
6553.47	onta <男> <オタノ男称は、例之は子供が 生まれたとき。 「ota 子タノヤ?」 「オタヤ」 という 風にも。>	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は範囲にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(24)
男 080			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6557.14	jaro 〈鼻〉〈おつに使うぬ〉	otoko
6558.10	jaro: 〈F〉	同上
6558.37	jaro: 〈鼻〉〈おつ多くは使うぬ〉	同上
6559.67	同上 〈怒って自分の子供なむに使う。 (かしこく希である)〉	同上
6561.49	オンダ 〈鼻〉	同上
6564.51	onda 〈鼻〉	同上
6568.13	jaro 〈F〉	同上
6580.66	ヤロオ 〈F〉	同上
6581.52	カキ 〈鼻〉〈アノカキ。などい〉	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	(25)
項目名		(C 除いた特殊語)	
男 000			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6586.27	jaro < 小さい男に使った。怒った男なのが今では使わない >	otoko
6591.02	ヤロオ < F >	オトコ
6591.57	カキ < F > カキシャツ < F >	オトコ
6603.52	ono ¹ ko < さんでいい言い方。まだおんなの言い方 >	o ¹ toko
6603.82	ヤロウ < F >	オトコ
6604.38	ヤロウ < 男 >	オトコ オトコシ
6604.60	ヤロオ < F >	オトコ
6606.35	otoko ¹ (男 尊称は NR)	
6606.38	gaki ¹ (男)	o ¹ toko ¹
6607.03	-anojaro: < F > -aitsu < F >	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号 136	A 普通注記	
項目名 男 080		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(26)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
6607.84	-otokoji ([-si]=「衆」か)	
6608.07	-jaro: (♀)	otoko ⁷
6609.02	ja ⁷ ro: <F>	o ⁷ toko
6609.05	下 ヤロ	オトコ
6613.07	ヤロ ⁷ <下> <野郎は ya ⁷ rozu>	オトコ
6613.77	オトコ ⁷ <男衆の意味あり>	オトコ
6618.51	-jaro: (男 ⁷ 衆)	o ⁷ toko ⁷
6619.76	jaro: (♀)	otoko
6621.94	同上 <♀>	同上
6623.53	jaro: <F>	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(29)
男 080			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6624.13	kozō: 下(親しい者達) jaro: 下	otoko
6624.65	jaro: 卑	同上
6625.17	jaro: 下	同上
6625.66	jaro: 〈卑〉	同上
6626.30	jaro: 〈悪口〉	otoko
6627.12	-jaro: (F)	otoko ⁷
6626.40	osu ⁷ 〈卑〉	同上
6626.71	-aitsu 〈卑〉	同上
6628.23	-jaro: 〈卑〉	同上
6628.59	同上 〈[jaro:]は「愚夫」などか便う〉	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(28)
男 080			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
66 29.24	jaro: <卑>	otoko
66 30.58	jaro: <卑>	otoko
66 32.88	同上	同上
66 33.33	同上	同上
66 33.89	卑 kozo:	同上
66 34.07	jaro: 卑	同上
66 34.32	下 jaro:	同上
66 35.54	卑 同上	同上
66 35.87	jaro: 下	同上
66 36.62	同上 <卑>	otoko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
	136	(B 除いた共通語)
項目名		(C 除いた特殊語) (29)
男 080		

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
66 38.14	jaro: 〈卑〉	otoko ⁷
66 39.43	jaro: 〈卑〉	otoko
66 40.34	jaro: 〈下〉〈希〉	同上
66 40.76	同上 〈平常は両方使わない〉	同上
66 41.43	jaro: 〈卑〉〈年令に關係なく全般に使う〉	同上
66 41.82	jaro: 〈卑〉〈年令に關係なく〉	同上
66 42.33	jaro: 卑	同上
66 42.58	同上 下	同上
66 43.16	同上 下	同上
66 43.72	卑 jaro:	同上

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は秘密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(30)
男 080			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6645.37	jaro: <♀>	otoko
6645.62	同上	同上
6646.23	同上	同上
6646.74	同上	同上
6649.28	jaro <♀称>	oto: oto'o
6650.70	jaro: <♀>	
6650.79	♀ jaro:	同上
6651.32	jaro: <♀>	同上
6652.06	♀ jaro:	# otoko
6652.30	jaro: F	otoko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は秘密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(3/)
男 089			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6652.77	jaro: 卑	otoko
6653.30	同上	同上
6655.51	jaro: <卑>	同上
6655.87	同上	同上
6656.31	同上	同上
6657.54	-konojaro: <卑> tʃi:ʔkiʃoʔ: <卑>	otohoʔ
6657.96	復問せす	
6661.02	jaro: <卑>	otoko
6662.01	jaro: 卑	同上
6662.38	同上	同上

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	[B 除いた共通語]	(32)
項目名		[C 除いた特殊語]	
男 080			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
66 65.25	jaro: 〈卑〉	otoko
66 97.39	jaro 〈卑称〉 jarokko 〈褒称〉	同上
66 97.59	otsuko 〈古〉 jaro 〈卑称〉	同上
66 98.20	jaro: 〈卑称〉 jaro: kko 〈褒称〉	同上
66 98.61	jaro 〈いやめた言ひ方〉 jarokko 〈褒称〉	同上
67 00.25	jaro: 卑 (Nom.)	同上
67 00.48	jaro: 〈卑〉	同上
67 01.01	jaro: (卑)	otoko
67 01.46	jaro: kko 〈卑〉	otoko

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 136	A 普通注記	ページ
項目名 男 680		(B 除いた共通語)	(33)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6702.21	jaro <卑>	otoko
6710.02	jarōi <卑>	otoko
6710.55	jarōi (卑)	otō otoko
6711.95	!jarōi <卑>	otoko
6720.23	jarōi (卑)	同上
6720.67	同上	otō
6721.33	同上	otoko
7218.26	ko ⁷ nu ^w otoko <卑>	⁷ wotoko
7303.29	otoko <卑 別紙に付>	
7313.34	(卑) gaki	otoko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での位置は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号 136	A 普通注記 ページ
項目名 男 680		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (34)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7313.68	(卑) kuso kero	otoko
7321.93	オコ 卑 <別になん>	
7323.17	卑称 kedo	otoko
7332.97	otoko 卑 <別になん>	
7351.09	同上	
7500.24	オコ <卑称>	オコ
7503.11	otokosi <「オコシ」は複数に限る。>	otoko
7510.18	オコ <卑>	オコ
7511.66	オコ <下>	オコ
7512.43	オコ <下>	オコ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	136	
項目名		[B 除いた共通語]
男 000		[C 除いた特殊語] (35)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7513.69	トロ〈F〉 ㇿハチ 〈F〉	オトコ
7521.16	ㇿロ〈F〉 ㇿㇿカチ 〈F〉	オトコ
7521.79	カキ〈F〉	オトコ
7522.48	ㇿロ〈F〉 カキ〈F〉	オトコ
7523.30	ㇿサリカキ 〈F〉	オトキ
7523.74	otoko 子供's bo:	
7533.11	カキ〈F〉	オトコ
7659.53	誘 onokogo	
8333.03	otoko 雄 is otts	
9313.55	otsuko 〈希〉	otoko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号 136	A 普通注記 ページ
項目名 男 080		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0747.70	warasi <子供全役'まもいう ひとりをもう>	otoko <(男)jaro:
0896.22	[ワラシ][古] ワラシは男女とも子供に対する呼び方。 [エオンワ]	トコ
1743.70	ヤロコ ヤロコは子供をさす	トココ
1798.13	he'kat'fi <(男の子)> <アイヌ語である。子供を呼ぶ時にどう呼ばれた?> (ホシニシバ = シロイカシ)	okkai <(男)><(男)><(南にいたことか 北にいたことかはない)> otoko
3721.71	(男) bagajaro	odogo
3724.96	ワケアモ <青年>	トココ
3733.18	gagi (若いもの 幼いものに)	(男) bagajaro 男女ともに odogo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() (C)は厳密にする。

質問番号	地図番号 136	A 普通注記 ページ
項目名 男 680		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3733.22	kūsarebitta (年) 子供に。	jaro (年) odogo
3744.18	かキ (男児)(年)	オトコ
3765.74	ヒコキ (男児)	オトコ
3781.49	gagi (子供に对して)	jaro (年) odogo
4619.29	jaro (男児の尊称)	odogo
4653.02	ja'roko'be <男の子に:とE goro'no'ito'ki>	oto'ko
5569.36	<幼> オオ	オトコ
5578.27	オオ <幼・年>	オトコ
5579.79	<幼> オオ	同上
5588.78	オ <幼> オオス <幼>	オトコ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(3)
男 080			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5597.78	<p><鼻>ホオ } <大人に対して使う場合は殆んどなく、 <鼻>ホオ、コ } 大人が男の子供に対して使うことは、 (ホオは、他の動物や牡牛の場合 に使う)</p>	オトコ
5599.41	ホオ <幼・鼻>	オトコ
5646.71	オトコシ <結婚後>	オオオ <下> オトコ
5752.94	(鼻) zizi: <死人について>	otoko
5780.11	jaro jaroは自分の子供に使う。 jaro dekfta (生れた) 他人の子に使うはいわない。	odogo
6439.01	カキ <子>	オトコ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(4)
男 090			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6487.66	かキノコ <子><下>	オトコ
6494.08	トコロ <下> コトコロ <下> <トコロは多く子供に ついていう。コトコロも同じ。但しこちらは多くの 小さい子供をさしていう感がある。>	同上
6498.61	gaki (子供. 卑)	otoko
6507.13	ホオ } <子供に対して(21)2Eは> ホオズ }	オトコ
6507.48	ホオ } <子供に対して(21)2Eは> <卑> 子 } }	オトコ
6507.79	<幼> ホオ	オトコ
6518.15	pニナ <見を呼ぶ。子供に2Eは>	オトコ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中でどの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	136	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(5)
男 000			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6518.87	<卑> ホオス (大人には使わない。自分の子供、または他人の子供を叱ったりする時に使う。)	<学> タレシ オトコ
6519.43	<幼卑> ホオス	<他><卑> カキ <英> タンシ オトコ
6519.67	<幼卑> ホオ	オトコ
6533.36	bo:zu <子>	otoko
6571.68	パコ <男の子供>	オトコ
6584.90	小い男の子をいふ nju':do: <少> おかしな男の子をいふ ku'sonju':do: といふ。	otoko

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に基づく。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 136	A 普通注記 4-1
項目名 男 男		[B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語 (6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6604.60	コソオ <下> <青少年に対してのみ使用>	コソオ <下> トコ
6617.34	NR <男>	otoko
6617.75	(下) コソオ (年少者に対して)	トコ
6618.46	(子・男) 加キ	トコ
6625.17	kozo: 子, zinjzi: ...老人E. 全年齢使用	jaro: 下 otoko
6626.30	kozo: <子供に対しての悪口>	jaro <悪口> otoko
6638.14	<子供の年齢は [gaki]>	jaro: <男> otoko
6641.43	ozi: <老人E> zinjzi: <男> <老人E>	jaro: <男> <年齢に関係なく 全般に使用> otoko
6641.82	ozi:san <年齢なし>	jaro: <男> <年齢に関係なく> otoko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() ()は既密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
	136	(B 除いた共通語)
項目名		(C 除いた特殊語) (7)
男 000		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
66 43.16	gaki 下. 子	jaro: F otoko
66 52.30	kozō: 下. 子	jaro: F otoko
66 97.59	jarokko 〈小村の男の子の意〉	otuko 〈古〉 jaro 〈尊称〉 otoko
67 30.33	[gaki] は男の尊称であるが年寄には使わない。	otoko
73 12.11	子供の時 of: o: (尊称)	otoko
73 29.57	〈男の子が生まれたとき bo: ga deketa sona と云った事がある。〉	otoko
74 36.40	男の子の尊称 gaki	otoko

